

**国立大学法人豊橋技術科学大学**  
**グローバル工学教育推進機構 (IGNITE)**  
**国際交流センター (CIR)**

Center for International Relations (CIR),  
Institute for Global Network Innovation in Technology Education (IGNITE),  
Toyohashi University of Technology



## センター長 挨拶

豊橋技術科学大学  
グローバル工学教育推進機構  
国際交流センター長  
大 門 裕 之

国際交流センターのセンター長となり二年目を大過なく務めることができました。これも国際交流センター教員のみならずグローバル工学教育推進機構の教職員および国際課の皆様のご尽力によるものであり、深く感謝の意を表します。

これまでの全ての事業の見直しを進めると同時に、経費節減、効率向上、プログラムの改善、より高い効果を得るための工夫を施しました。その際、役割分担を明確にし、誰がどの業務に携わっているかの確認を随時行いました。これに加えて新規の事業の立ち上げを多く行いました。一部はチャレンジングなものもあったため、センター教員が取り組む作業の負担が著しく増加しました。今後も業務が増える可能性があるため、より一層の効率化を進める必要があると感じております。加えて、留学生が今後増加することが見込まれていることから、その対応には全学的な取り組みが不可欠であると感じております。その際、教職員全員が本学の多文化共生・グローバルキャンパスの実現に積極的に取り組める雰囲気づくり、環境づくりが必要です。このことも国際交流センターの一つのミッションであり、今後の課題であると考えております。その初めの一步として実施したことが留学生の指導に携わる教員全員との面談です。留学生を指導する際の注意事項を改めて確認させていただくと同時に、国際交流センターとのより良い関係を築くための意見交換を行いました。これは今後も続けます。

平成 27 年度に特に力を入れた一つ目は、国際交流会館の管理・運営の見直しです。会館チューターとの月例ミーティングを通し、国際交流会館が見違える程、整理整頓が進み、管理・運営体制を整えることができました。二つ目としては、国際交流センター教員全員が留学生相談担当教員となって留学生全員をフォローするという事です。日本語クラスを受講している学生、国際プログラムの学生、新入生、就職活動を控える学生それぞれに担当者を決め、日頃から声を掛けることによって、さらに良い留学生との関係の構築を目指し、様々な相談をし易い環境を整えました。

次年度は、「グローバル技術科学アーキテクト」養成キャンパスの創成に向けて、幅広い観点からこれまでの制度や業務内容を見直し、整理を行い、改善に取り組みます。引き続きご理解とご協力の程、どうぞ宜しく御願ひ申し上げます。

## 1. 教育活動

### (1) セミナー

#### 日本人学生対象留学セミナー

平成27年11月10日（火）に、㈱マイナビ就職情報事業本部グローバル採用支援課のキャリアアドバイザーを講師に迎え、日本人学生対象留学セミナーを開催した。タイトルは、「留学生と就職 ～留学からキャリア～」である。

国際交流センターでは、近年、日本人学生の海外留学を支援する機会が多くなり、その際に、学生から「海外での経験は将来のキャリアに対し、どのように効果的に生かすことができるか?」「企業は海外経験をどのように評価しているのか?」などの質問が寄せられるようになった。その一方で、マイナビの担当者からは、以前から海外経験のある日本人学生に特化した企業説明会の存在や、そうした学生に対する企業のニーズの高さについての情報を得ていたが、なかなか学生に伝える機会がなかった。このような背景から、本学では初めてとなる日本人学生を対象とした留学セミナーを開催するに至った。

セミナー当日は、海外留学に興味がある13名の日本人学生が参加した。セミナーでは、単なる観光旅行ではなく、慣れない環境に身を置く経験をした学生の行動力やバイタリティーを企業は評価することや、TOEIC スコアは600点以上が最低限必要であること、学生のスペック（大学名や専門）ではなく将来のポテンシャルを重要視することなどが留学後の就職活動をする上でのポイントであることが伝えられた。さらに、海外留学を行う際には、語学力の向上はもとより、ビジネス視点を持つことや、表現力を身に付けること、情熱を持つことなど、人間力を高めることも重要であるとアドバイスがあった。

今回のセミナーは、グローバルな舞台での活躍を目指す本学の学生にとって、海外留学の経験や工学的なセンスが、将来いかに重要となるかを知る良い機会となった。

### (2) 集中講座

期 間	内 容	講 師	参加者数
8月19日～8月20日	リーディング大学院・海外実務訓練生対象 マレー語 ～言語と文化～	リム・パン・ボイ（本学准教授） タン・ワイ・キアン（本学特任助教） リー・チャン・ユアン（本学学生） ク・アズ・イン・ビンティ・ク・アズミ（本学学生）	17名
8月24日～8月26日	中級者向け TOEIC 対策	河合 信江（アルク専任講師）	12名
9月28日～9月30日	英会話	ジョン（ジエボン）・パーカー・アレクジュニア（英語講師）	15名
3月 8日	ペナ研修参加者対象 マレー語 ～言語と文化～	リム・パン・ボイ（本学准教授） 蒲原 弘継（本学特任助教） タン・ワイ・キアン（本学特任助教） ヌル・ザワティール・イシ・ビンティ・ダウト（本学学生）	15名

センターでは、毎年1講座12時間～15時間程度の集中講座を3回～4回開催している。講座開始当時の目的は、普段接する機会の少ない外国語に親しんでもらうことであったが、現在は講座のうち一つを、授業で開講している外国語の強化目的で開講している。今年度はマレー語講座を対象者別に夏と春の2回に分けて開講し、その他に、開講希望の多い中級 TOEIC 対策と英会話を開講した。



### (3) 日本語研修コースⅠ（初級）

コース概要：大学院進学を目指す国費大使館推薦の研究留学生を主な対象とし、約15週間の日本語予備教育を行う。

#### ① 4月期日本語研修コースⅠ

開講期間等：平成27年度4月期＜第21期＞ 15週間

4月8日 プレイスメント

4月14日 オリエンテーション・開講式

4月15日 授業開始

8月7日 修了式

コーディネーター：村松由起子

修了者：Draganova Vanya Yordanova 計1名

#### 時間割

	月 Mon.	火 Tue.	水 Wed.	木 Thu.	金 Fri.
1 8:50-10:20	日本語 (村松)	日本語 (石川)	日本語 (鈴木)	日本語 (石川)	日本語 (坂本)
2 10:30-12:00	日本語 (吉村)	漢字 (吉村)	日本語 (村松)	日本語 (石川)	日本語 (坂本)

#### ② 10月期日本語研修コースⅠ

開講期間等：平成27年度10月期＜第22期＞ 15週間

10月7日 プレイスメント

10月9日 オリエンテーション・開講式

10月13日 授業開始

3月2日 修了式

コーディネーター：村松由起子

修了者：Tania Paramita Utomo, Rasyif Teuku Muhammad, Sasongko Diar Fahrudin, Singgih Abraham Bhaskara, Kusumawan Sholihatta Aziz, Pham Thi Huong Ngat, Dollmat Khairul Irman, Ambar Sllistyo Wardani 計8名

#### 時間割

	月 Mon.	火 Tue.	水 Wed.	木 Thu.	金 Fri.
1 8:50-10:20	日本語 (村松)	日本語 (吉村)	日本語 (鈴木)	日本語 (石川)	日本語 (坂本)
2 10:30-12:00	日本語 (吉村)	漢字 (吉村)	日本語 (鈴木)	日本語 (石川)	日本語 (坂本)

### (4) 日本語研修コースⅡ（初中級）

コース概要：初級を終えた学習者が、中級に向けて日本語能力の向上を図り、専門教育において日本語の使用が可能になるよう基礎的な能力を養うために開講する。

#### ① 4月期日本語研修コースⅡ

開講期間等：平成27年度4月期＜第5期＞ 15週間

4月8日 プレイスメント

4月15日 授業開始

8月5日 授業終了

コーディネーター：村松由起子

受講者：Witthaya Daodon, Nihan Karatas, Nguyen Chi Linh, You Na Lee, Surya Giri 計5名

#### 時間割

	月 Mon.	火 Tue.	水 Wed.	木 Thu.	金 Fri.
1 9:30-10:15		初中級文法 (村松)	初中級会話 (村松)		
3 13:30-14:15				初中級漢字 (村松)	

②10月期日本語研修コースⅡ

開講期間等：平成27年度10月期＜第6期＞ 15週間

10月7日 プレイスメント

10月13日 授業開始

3月2日 授業終了

コーディネーター：村松由起子

受講者：You Na Lee, Draganova Vanya Yordanova, Nguyen Ngoc Duong,

Ida Sri Wardani 計4名

	月 Mon.	火 Tue.	水 Wed.	木 Thu.	金 Fri.
1 9:30-10:15		初中級文法 (村松)	初中級会話 (村松)		
3 13:30-14:15				初中級漢字 (村松)	

(5) 日本語補講・Basic Japanese

コース概要：日本語能力を有しない留学生、研究者、その家族を対象とし、日本で日常生活を送る上で必要な基礎的な日本語を教える。

①前期 Basic Japanese

開講期間：平成27年4月～7月

コーディネーター：村松由起子

クラス編成及び受講者数

クラス名	回数	受講者数
Basic Kanji	15	5
Basic Grammar	15	9
Basic Conversation	15	9

時間割

	月 Mon.	火 Tue.	水 Wed.	木 Thu.	金 Fri.
1 8:50-10:20					Basic Conversation (神崎)
2 10:30-12:00		Basic Kanji (吉村)			
3 13:00-14:30					
4 14:40-16:10			Basic Grammar (吉村)		

②後期 Basic Japanese

開講期間：平成27年10月～平成28年2月

コーディネーター：村松由起子

クラス編成及び受講者数

クラス名	回数	受講者数
Basic Kanji	15	9
Basic Grammar	15	13
Basic Conversation	15	13

時間割

	月 Mon.	火 Tue.	水 Wed.	木 Thu.	金 Fri.
1 8:50-10:20					Basic Conversation (神崎)
2 10:30-12:00		Basic Kanji (吉村)			
3 13:00-14:30					
4 14:40-16:10			Basic Grammar (吉村)		

## 2. 留学生相談・支援

### (1) 留学生相談

国際交流センターでは、留学生の入学時のガイダンスをはじめ、それ以降の学生生活においても留学生をサポートする体制を整えている。留学生の相談窓口として、次のものを用意している。

#### 1. 留学生相談担当教員による相談

留学生が学生生活で直面する様々な困難に対応するほか、履修全般に関する相談、就職相談、進学相談など、幅広い相談を受け付けている。

#### 2. 国際課留学生係の相談窓口

ビザ、奨学金、宿舍、その他様々な手続きの書類などに関する相談を受け付けている。

#### 3. 国際交流会館における生活相談

2名のチューターが国際交流会館に居住し、居住する留学生の生活全般について相談を受け付けている。

### (2) 履修相談会

国際交流センターでは、平成23年度から学生支援室と共催で履修相談会を開催している。履修相談会では、各系および国際プログラムから選ばれたチューター2～5名が留学生を含む新生・在生に対して科目選択のアドバイスを行っている。平成27年度は前期・後期のそれぞれ開始直後（前期：4月8日～14日、後期：10月5日～8日）に開催し、前期には104人（うち留学生19人）、後期には49人（うち留学生20名）の相談者が各系のブースを訪れた。



### (3) 学業相談会

学部留学生は日常生活に困らないレベルの日本語能力を有するものの、ネイティブレベルに達しているものは少ない。特に来日まもなく、はじめて日本に留学している留学生の中には、日本語で開講される講義の単位取得に苦勞する者が多い。国際交流センターではこうした学部留学生の単位取得のサポートを行うために、平成22年度から学業相談会を実施している。学業相談会では、相談担当教員（桂田・蒲原）が学部留学生の単位取得状況と学業の進捗状況を把握した上で、学業についての適切なアドバイスを行っている。また、単位の取得に困難を伴う留学生に対しては、個々の科目の補習を行うパワーチューターを配置して、単位取得のサポートを行っている。

#### (4) 留学生のための就職支援

留学生のための進路・就職ガイダンスおよび学内企業説明会を下記のとおり実施した。日本のビジネス習慣や就職活動への理解を深めるため、留学生を対象にきめ細かな指導および支援を行っている。

第1回実施日時：11月6日（水）18：00～19：30

内容：進路確認と就職活動の進め方等（㈱マイナビ協力）

第2回実施日時：12月10日（木）14：40～16：10

内容：企業の選び方、エントリーシート の書き方、  
面接対策（㈱オリジネーター協力）

第3回実施日時：2月5日（金）18：00～20：00

内容：ASEAN 留学生向けの自己PR ワークショップ  
（日本アセアンセンター協力）

場所：A2棟201講義室、IGNITE棟105教室

担当：留学生相談担当教員、国際課留学生係



#### (5) 留学生のための日本語能力試験等説明会

留学生の就職活動支援の一環として、日本語能力試験、ビジネス日本語能力テスト等の日本語資格試験に関する説明会を実施した。

第1回実施日時：4月24日（金）12：10～12：50

場所：IGNITE棟105教室

担当：村松由起子 吉村弓子（国際交流センター 日本語担当教員）

参加者数：11名

第2回実施日時：10月30日（金）12：10～12：50

場所：IGNITE棟105教室

担当：村松由起子 吉村弓子（国際交流センター 日本語担当教員）

参加者数：5名



#### (6) 安全講習会（自動車等の運転）

新入留学生を対象とした安全講習会を2回実施した。本講習では豊橋警察署から講師をお招きし、日本の交通ルール、保険、事故にあった場合の対処法などについて説明していただいた。特に日本の運転免許証の取得方法、国際運転免許証の注意点について詳細に確認を行う等、渡日間もない留学生にとって、本講習は日本での安全な留学生生活を始める上で重要なものとなっている。

第1回実施日時：4月3日（金）17：40～18：00

第2回実施日時：10月2日（金）16：45～17：05

場所：A2棟101講義室

担当：留学生相談担当教員、国際課留学生係

#### (7) 留学生引っ越しセミナー

留学生を対象とした引っ越しセミナーを実施した。本セミナーでは（株）レオパレス21学校法人営業部の方を講師にお招きし、日本の物件賃貸契約など慣習や注意点についてお話していただいた。留学生にとって、大変有意義なセミナーとなった。

日時：1月21日（木）18：00～19：00

場所：IGNITE棟105号室

担当：留学生相談担当教員、国際課留学生係





### 3. 留学生交流

#### (1) センター主催行事一覧

No.	行事名	内容	開催日	参加者数
1	外国人留学生・ガイダンス / チューターガイダンス・交通安全講習会及び懇親会	新入学外国人留学生のためのオリエンテーション及び情報交換会、留学生をサポートする学生へのガイダンス、日本で車を運転する場合の交通規制や保険、税等についてのレクチャー	4月3日	150
2	第17回国際交流デー（リサイクルデー）	留学生のための家具電化製品リサイクル活動	4月6日	100
3	国際研修プログラム（受入）	バンドン工科大、中国東北大学、マレーシア科学大学、マレーシア工科大、ホーチミン工科大の学生とワークショップ、関係企業訪問など	8月30日～9月6日	35
4	外国人留学生・ガイダンス / チューターガイダンス・交通安全講習会及び懇親会	新入学外国人留学生のためのオリエンテーション及び情報交換会、留学生をサポートする学生へのガイダンス、日本で車を運転する場合の交通規制や保険、税等についてのレクチャー	10月2日	150
5	第18回国際交流デー（リサイクルデー）	留学生のための家具電化製品リサイクル活動	10月6日	80
6	海外高校生招へいプログラム	海外の優秀な高校生を招き大学の研究、進路等に関する情報を紹介、科学技術への理解を促す	10月25日～31日	10
7	第19回国際交流デー（世界のお茶会）	日本人学生と留学生が母国のお茶、お菓子を提供、その他ステージパフォーマンスで学内関係者と交流	11月13日	360
8	外国人留学生学外研修	文化体験・施設見学を通じ留学生同士、教職員との親睦を図る（京都）	12月21日～22日	38
9	留学生意見交換会・懇談会	留学生支援団体等と意見交換会及び懇談会	1月25日	250
10	特別推薦入学者等の海外研修	マレーシアに滞在し、異なる文化・社会に接しながら学生との交流・ホームステイを通じてグローバルな物の見方や考え方を養う	3月13日～21日	15
合計				1,188

#### (2) 国際交流デー

国際交流センターでは、本学における日本人学生・教職員と留学生・外国人教職員との交流を活発にし、キャンパスの国際化を推進するため、国際交流デーを実施している。

##### ○世界のお茶会

11月13日（金）にA棟横テント下で実施。トルコのトルコティー、マレーシアのテータリック、日本の抹茶など8つの国と地域の学生がお茶をふるまい、360名の参加者同士で交流を行った。



##### ○リサイクルデー

本学教職員・学生からリサイクル品を提供していただき、新しく入学した留学生に提供するイベントを下記の通り実施した。

実施日（春）：平成27年 4月6日（月）

（秋）：平成27年10月6日（火）

場所：国際交流会館

#### (3) 留学生学外研修

12月21日（月）、22日（火）に外国人留学生学外研修を実施した。この学外研修は、当該年度に入学した留学生を対象に日本の文化、歴史における名所・旧跡、市街地等の見学、日本文化体験等を通じて日本への理解を深めてもらうことを目的として毎年実施している。

今年度は、38名（日本人チューター2名含む）の参加があり、世界文化遺産である京都市内の建造物の見学、京都市市民防災センター、友禅染伝統文化体験等、留学生の希望を取り入れて実施した。参加者からは日本への理解が深まった、地震のあまりない国から来たので地震の知識を得る貴重な機会となったなどの声が聞かれ、有意義な学外研修となった。



#### (4) 地域交流

##### ① 語学講師等派遣

No.	行事名	派遣先	内容	開催日	参加者数
1	らくらく英語会話クラブ	蒲郡G I A	蒲郡国際交流協会の英語クラブの講師	6月2日 9月3日	4
2	"I love Toyohashi" English Camp	豊橋市教育委員会	市内在住中学生の英語力向上を目指す英語体験活動	7月24日 8月21日	3
3	English Summer Camp	新城国際交流協会	新城市の中学生と英語を使って交流 A E T講師の補助業務	8月17日	7
4	世界の料理教室	豊川市国際交流協会	豊川市国際交流協会メンバーの希望者にマレー料理を教える	10月31日	1
5	豊橋南高校 英語研修	豊橋南高校	高校生に英語で母国紹介など	11月19日	5
6	時習館高等学校英語研修①②③	時習館高等学校	高校生による英語口頭プレゼンおよびポスタープレゼンへのアドバイス等をする（英国での合同研究発表会に向けて）	10月25日 12月19日 1月30日	52
7	時習館高等学校英語研修「英語村」①②	時習館高等学校	高校2年生全員とグループ単位で英会話交流（時習館高校のSSH事業）	12月9日 12月12日	40
合計					112

##### ② まつり等

No.	行事名	派遣先	内容	開催日	参加者数
1	留学生招待花見の会	豊橋地区日中友好協会	花見をしながら日中友好協会の方と交流	4月5日	3
2	手筒花火特別放揚 ①②	豊橋市役所観光振興課	吉田城鉄橋前広場にて訪日外国人と留学生を対象にした手筒花火を鑑賞	6月3日	162
3	日東電工国際交流クラブ①②③④⑤	日東電工国際交流クラブ	様々なアクティビティ、見学先でメンバーと交流	7月・8月・ 9月・10月・3月	22
4	国際交流さくら総会	新城国際交流協会、国際交流さくら	座禅及び書道体験	6月20日	7
5	鳳来寺山ハイキング	国際交流さくら	鳳来寺山へハイキング・足湯	6月28日	4
6	豊橋祇園祭鑑賞会	豊橋市国際交流協会	豊橋祇園まつりにて、桝敷席から花火大会を鑑賞する	7月18日	56
7	豊橋シニアライオンズ交流会	豊橋シニアライオンズクラブ	日本食を作って交流	9月14日	6
8	中国留学生と日中友好協会会員と餃子を作る会	豊橋地区日中友好協会	餃子作りと試食を通して中国留学生と友好交流を行う	9月26日	4
9	Happy Day Camp	たはら国際交流クラブ	BBQを通して国際交流	10月4日	8
10	細谷小学校との交流会	細谷小学校	小学生とゲームやプレゼンテーションを通じて異文化交流体験	10月19日	13
11	Youth Conference	新城ユース会	新城ユースの会会員と英会話で交流	10月24日-25日	10
12	豊橋まつり	豊橋市国際交流協会	豊橋国際交流協会の方々と総踊りに参加	10月17日	30
13	世界のお茶と音楽のつどい	新城市国際交流協会 国際交流さくら	新城市民を対象に音楽とお茶を通じ交流	3月5日	4
合計					329

##### ③ ホーム・ビジット等

No.	行事名	派遣先	内容	開催日	参加者数
1	第28回JAPAN TENT いしかわー	JAPAN TENT 開催委員会事務局	留学生を石川県に招待し、伝統文化を体験しながら国際交流を深める。ホストファミリー宅にも滞在	8月20日-26日	1
2	蒲郡海のふれあいツアー	蒲郡国際交流協会	蒲郡市民とホームステイを通して交流	8月22日-23日	3
3	ヒッポファミリークラブ1泊ホームステイ	ヒッポファミリークラブ	日本の家庭に一泊ホームステイ	11月28日	4
4	留学生との交流会（佐久島会）	蒲郡GIA会員	蒲郡GIA会員別荘での交流会。バーベキュー、釣り、散策など	4月・6月・ 1月・3月	7
合計					15

## 4. 国際交流

### (1) ニューヨーク市立大学クイーンズ校学部生受入プログラム /QC Exchange Program

Duration: May 30th~June 12th (13 days)

Partner University: Queens College (QC), City University of New York

Staff: Ryan, Kamahara, Takagi, Sasao, Levin, members of 2015 Global FD

The QC Exchange Program was created in 2015 as a part of an MOU between TUT and QC, as a reciprocal arrangement to our sending FD members to QC for training. In return we received 5 students from QC for a 2 week program. The main goals were to teach the American students something about culture and technology in modern Japan. By twinning this program with the Global FD program for the KOSEN teachers, we experimented with the idea of having two groups, one from New York and the other from Japan, who could help each other as partners in the two-way exchange.



This program offered a range of classes and activities for the American students:

Basic Japanese -

Although this was not a language program, the participants received some survival Japanese classes to help them get by while in Japan.

Culture and Technology Class -

In this class the QC students and Global FD (GFD) participants discussed a series of broad themes relating to Japanese culture and society, based on selected text from the book 'Japan: The basics' by Christopher Hood. In the final 30 minutes of each class, one of the GFD professors gave a short lecture about their field of scientific research.

Hands on Technology Experience -

The American students visited each of TUT's five departments, where they were given a 'hands on' interactive tour of their activities.

Japanese Culture Class -

The QC students joined various TUT clubs for one session each to learn about student life, and Japanese culture ranging from manga to robotics.

In addition to the above, the QC students also went on several day trips, to take in aspects of Japanese culture or technology, such as trying on kimono or visiting Toyota's museum.

※ This program was sponsored by JASSO (Japan Student Services Organization).

### (2) 高校生招へいプログラム (受入)

趣旨：マレーシア、ベトナム、モンゴルのトップレベルの高校から、日本への留学を検討している高校生10名を招へいする。日本の大学の教育システム、日本の大学の雰囲気、勉学・研究の内容、留学時の生活、卒業・修了後の進路等に関する情報を伝え、日本への留学と日本の科学技術への理解を促すことを主な目的とする。また、本学のスーパーグローバル大学事業の一環として平成30年4月に開始する「グローバルアーキテクト養成コース」での学生獲得に向けた取り組みの一つであるため、引率の教員4名に対しても留学生のサポート体制等を紹介し、日本への留学に対する理解を深めることを狙う。

参加校：モンゴル・新モンゴル高等学校（3名）、ベトナム・レホンフォン高校（3名）、マレーシア・ジットシン高校（2名）、マレーシア・チュンリン高校バターンコース校（2名）

期間：10月25日（日）～10月31日（土）（7日間）

内容：1) 本学の先端研究施設および研究室の見学、2) 日本滞在中に必要な簡単な日本語会話の講義、3) 本学留学生との意見交換会、4) 日本文化体験（岡崎城および三河武士のやかた家康館見学、市内文化施設（三ノ丸会館）での華道・茶道体験）、5) スーパーサイエンスハイスクールである時習館高校との交流会、6) 学外施設・企業見学（浜松科学館見学、トヨタ本社工場およびトヨタ会館ミュージアムの見学）



本学の植物工場を見学し、説明を受ける高校生

※この活動は（独）科学技術振興機構の日本・アジア青少年サイエンス交流事業さくらサイエンスプランの支援を受けて実施された。

### (3) 国際研修プログラム（受入）

趣旨： 1) 工学を学んでいる優秀なアジアの大学生を協定大学から招へいし、本学の特徴である異分野融合による価値創造型工学研究の最先端の施設を紹介する。 2) 本学日本人学生・留学生とのディスカッション・研究室体験を通して異分野・異文化同士の交流を深め、今後アジアをリードするイノベーション人材の育成に貢献する。 3) 日本語会話の学習や日本文化の体験、近代化産業遺産の見学を通じて日本の文化・技術に対する理解を促進する。

参加大学：バンドン工科大学（2名）、マレーシア工科大学（3名）、マレーシア科学大学（4名）、ホーチミン市工科大学（4名）、中国東北大学（4名） 計17名

期間：平成27年8月30（日）～9月6日（日）

内容：本学研究施設の見学、研究室訪問・ゼミ体験、ディスカッション、プレゼンテーション、キャンパスツアー、日本語学習体験、本学留学生との交流、サークル活動体験、豊橋国際交流協会アゼリア会協力による茶道・華道体験、豊橋市資源化センターおよびトヨタ産業技術記念館の見学、開講式、歓迎セレモニー、閉校式



生け花体験



グループディスカッション

※この活動は（独）科学技術振興機構の日本・アジア青少年サイエンス交流事業さくらサイエンスプランの支援を受けて実施された。

### (4) インドネシア Insantama 高校受入

インドネシア・Insantama 高校は首都ジャカルタの南部にあるボゴール市に6年前に創設された私立の理系高校である。高校3年生全員（60名）が、親や大学の資金に頼らず生徒自らがプログラムの企画をし、企業などからの支援を受けて海外訪問する「Advanced Leadership and Management Training（インドネシア語名：Latihan Kemimpinan dan Manajemen Tingkat Akhir）」プログラムの一環として平成27年11月4日に本学を訪問した。まず初めに井上光輝理事・副学長より歓迎の挨拶の後、スーパーグローバル大学創成支援事業推進室長の高嶋孝明教授より、本学の紹介及びスーパーグローバル大学事業の一環として平成30年4月に開始する「グローバルアーキテクト養成コース」の説明を行った。次に、Insantama 高校の生徒7名が今回のプログラムのテーマ“The Leadership and Management Study to Japan”について、日本語も交えながら英語でのプレゼンテーションを行った。午後からは5グループに分かれてラボツアーを行い、本学インドネシア人学生の案内により、各研究室の様子を見学した。高校生徒からは研究内容を始め、豊橋での生活や入試に関する情報等について熱心な質問があり、日本への留学および本学進学への興味の高さが窺えた。



本学の研究施設を見学する高校生

受入日：11月4日（水）

担当教員：蒲原弘継特任助教

## (5) 対日理解促進交流プログラム インド大学生訪日団受入

平成28年1月22日（金）、対日理解促進交流プログラム（JENESYS2015）によりインド情報技術大学ジャバルプール校の大学生27名、大学院生2名、引率教員1名が、日本の大学との交流を目的に本学を訪問した。このプログラムは、一般財団法人日本国際協力センター（JICE）が運営するもので、JICEからは3名の帯同者があった。本学としては、対日理解促進交流プログラム（KAKEHASHI Project）に採択され、同年3月にシアトルへ派遣されることになっていたことから、この訪日団を受入れ、当日におけるほとんどの対応は、シアトルへ派遣される本学学生が行った。

本学の学生がスライドを用いて豊橋周辺の地域と豊橋市、本学の紹介をし、インドの代表者がインドの紹介を行った。インドに関する質疑応答が活発に行われた。その後、シアトル派遣学生の案内のもと、キャンパスツアーとして、学内の主要箇所を見学し、1～3系の研究室を訪問した。昼食の際も本学の学生および留学生とも歓談をした。半日の限られた時間であったにも関わらず、インドの大学生は充実した時間を過ごせたようで多くの学生から深く感謝され、たいへん喜び帰路についた様子であった。対応した本学の学生も、多くの面でよい経験になった。



## (6) 特別推薦入学者等の海外研修（派遣）

本研修は、3年次特別推薦入学者および平成27年度前期卓越した技術科学者養成プログラムの希望者を対象に、マレーシア・ペナンにおける約1週間の海外研修を通じて、国際社会で活躍するグローバル人材の育成に資することを目的としている。ペナン校でのマレーシア科学大学学生とのワークショップをはじめ、マレーシア科学大学（メインキャンパスおよびエンジニアリングキャンパス）の研究室等の見学や日系企業（Panasonic Automotive System 社）と海外企業（Mini-circuit 社）の見学、ジョージタウン（世界遺産）の見学、ホームステイ（2泊）など短期間で充実した内容となっている。

参加学生：特別推薦入学者および平成27年度前期卓越した技術科学者養成プログラム

学部3年生15名

期間：3月13日（日）～3月21日（月）（9日間）

引率教職員：ライアン ユージン准教授、蒲原弘継特任助教、萩原孝明主任

ペナン校：京兼 純特任教授（国際教育センター）



外国企業見学



講義を受ける参加者達

(7) 対日理解促進交流プログラム KAKEHASHI プロジェクト (派遣)

日時：平成28年3月8日(火)～15日(火)

一般財団法人日本国際協力センター (JICE) が実施する青少年交流事業に申請、採択され、本学日本人学生24名が参加した。

**外務省 対日促進交流プログラム**  
**KAKEHASHI Project - The Bridge for Tomorrow**


日程：2016年3月8日(火)～2016年3月15日(火)

行き先：米国 ワシントン州 シアトル市


目的：対日理解の促進、親日派・知日派の発掘

内容：✓ 現地で日本文化の紹介  
 ✓ 滞在中の“気づき”に基づいたプレゼンテーション

参加校：豊橋技術科学大学 (24名)・高知大学 (12名)  
 秋田大学 (12名)・東北大学 (24名)  
 島根大学 (12名)・安田女子大学 (12名)



**KAKEHASHI Project の流れ**



- 1. 出発前準備**  
 ○書類選考・面接
- 2. 学校交流**  
 ○日本文化・技術の紹介(プレゼンテーション)  
 ○現地学生と交流
- 3. ワークショップ・報告会**  
 ○滞在中の気づき、学び、伝えたいこと  
 ○今後日本を紹介するためのアクションプラン計画
- 4. 各大学でのアクションプラン実行**  
 ○参加者全員が各研究室にてKAKEHASHI Projectを紹介  
 ○留学生歓迎会にてKAKEHASHI Projectを紹介  
 ○米国で訪問した小学校のiPadを用いた体験型授業の実践  
 ○成果物を今回の訪問先・各大学の関係者と共有

**シアトル滞在時のスケジュール 1**

8日 (火)	<b>米国着</b> タコマ国際空港 (シアトル市)	<b>市内視察</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Government Locks</li> <li>● Pike Place Market</li> <li>● Safeco Field</li> </ul>
9日 (水)	<b>在シアトル総領事 表敬訪問</b> ✓ 各参加校意気込み発表	<b>市内視察</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Wing Luke Museum</li> <li>● Bill and Melinda Gates Foundation</li> </ul>
10日 (木)	<b>学校交流</b> ● University of Washington	<b>市内視察</b> ● Washington State Capitol

**シアトル滞在時のスケジュール 2**

11日 (金)	<b>学校交流</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● South Paget Community College</li> <li>● Griffin School</li> </ul>	
12日 (土)	<b>ワークショップ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 気づきのまとめ</li> <li>✓ アクションプランの作成</li> </ul>	<b>市内視察</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Boeing Factory Tour</li> <li>● DENSHO</li> </ul>
13日 (日)	<b>報告会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 気づき報告</li> <li>✓ アクションプラン発表</li> </ul>	<b>市内視察</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Fremont Sunday Mart</li> <li>● Uwajimaya</li> <li>● Crab Pot</li> </ul>
14日 (月)	<b>米国発</b> タコマ国際空港 (シアトル市)	

## 5. 資料

### 在学留学生情報

#### (1) 外国人留学生受入状況

区 分	在籍身分状況												合 計			
	正規生						非正規生									
	学部			修士			博士			研究生等			国費	私費		合計
	国費	私費		国費	私費		国費	私費		国費	私費			政府	自費	
	政府	自費	国費	政府	自費	国費	政府	自費	国費	政府	自費	国費	政府	自費		
<b>◆アジア◆</b>																
1 インド				1		1							1		1	2
2 インドネシア			2	2		4	5		13				7		19	26
3 ベトナム			10	1		8			3				1		21	22
4 カンボジア									1						1	1
5 スリランカ						2									2	2
6 タイ							1						1			1
7 大韓民国						1			2						3	3
8 中華人民共和国			3			4			1						8	8
9 ネパール						1									1	1
10 パキスタン				1									1			1
11 バングラデシュ				1	1		1		1				2		2	4
12 マレーシア		35		1		8	14		9					43	24	67
13 モンゴル				4		1									5	5
14 ラオス	1		2			2							1		4	5
<b>◆中南米◆</b>																
15 ペルー							1						1			1
<b>◆ヨーロッパ◆</b>																
16 ウズベキスタン									1						1	1
17 ドイツ						1								1	2	2
18 ブルガリア										1			1			1
19 オランダ														2	2	2
<b>◆中東◆</b>																
20 アフガニスタン						2									2	2
21 トルコ				1									1			1
<b>◆アフリカ◆</b>																
22 エジプト							2						2			2
23 ガーナ							1						1			1
24 ウガンダ			1	1									1		1	2
25 タンザニア						1	1						1		1	2
26 チュニジア						1	1						1		1	2
小 計	1	35	24	8	8	43	13	0	31	1	0	3	23	43	101	167
合 計	60			59			44			4			167			

H27. 5. 1 現在

備考：平成16年12月1日より、文部科学省からの通達に基づき、JDS 事業により奨学金を受給している学生を、「私費」から「政府派遣」に切り替えた。





## 国際交流センター状況

### (1) CALL 教室および自習室利用状況

CALL 教室の授業外開放（4月～8月、9月～2月の平日：9時から19時まで）

#### CALLラボ教室 利用者数（自習及び一部授業での利用含む）

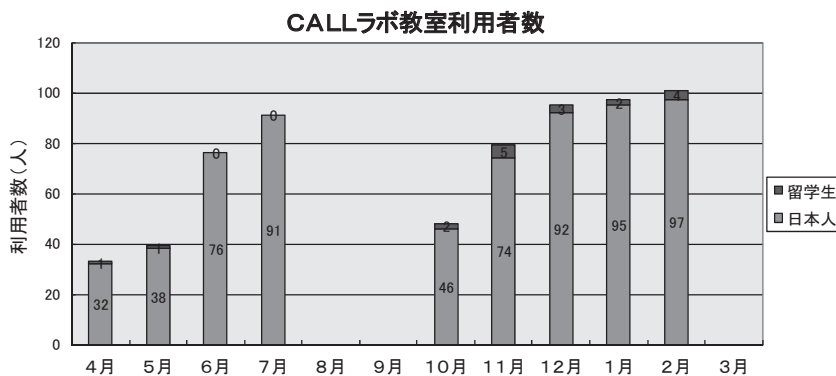
利用月	利用者数(人)	
	日本人	留学生
4月	32	1
5月	38	1
6月	76	0
7月	91	0
8月		
9月		
10月	46	2
11月	74	5
12月	92	3
1月	95	2
2月	97	4
3月		

	利用者数(人)		
	日本人	留学生	合計
4月～3月	641	18	659
月平均	71	2	73
1日平均	3.6	0.1	4

※出入管理システムの入退室記録を基に算出した。

※8月、9月、3月は閉室。

23年度にデジタル式LLシステムへの更新、24年度末にパソコン全台およびサーバを更新し、安定した稼働状態にある。昨年度に比べ、授業での利用が増えたせいか、自習での利用も増となっている。



「自習」利用者数  
(過去3年)  
25年度 347名  
26年度 358名  
27年度 659名

#### CALLラボ教室 授業での利用状況

前期

科目	教員名	コマ数	学生数	延べ人数	授業回数
英語 I Ab	社河内	1	34	510	15
英語 I Ac	笹尾	1	25	375	15
英米文化論	笹尾	1	13	195	15
英語特別演習J	笹尾	1	30	30	1
英語 V Be	秋元	1	58	870	15
英語 I Ba	レヴィン	1	34	510	15
合計		6	194	2490	76

「授業」利用者数  
(過去3年)  
25年度 4,438名  
26年度 3,878名  
27年度 4,820名

後期

科目	教員名	コマ数	学生数	延べ人数	授業回数
英語 II Ab	社河内	1	34	510	15
英語 II Ac	笹尾	1	26	390	15
英語 IV Aj	笹尾	1	23	23	1
言語と文化IV(水)	笹尾	1	28	112	4
言語と文化IV(金)	笹尾	1	5	20	4
工学基礎日本語	村松	1	2	30	15
英語 IV Be	秋元	1	38	570	15
英語 II Ba	レヴィン	1	35	525	15
特別推薦学生授業	レヴィン	1	15	150	10
合計		9	206	2330	94



総延べ人数	総実数
4820	400

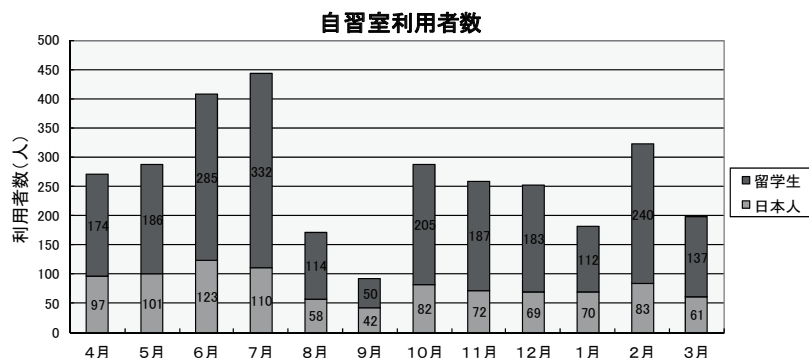
自習室の利用時間（平日の午前9時から午後10時まで）

**自習室利用者数**

利用月	利用者数(人)	
	日本人	留学生
4月	97	174
5月	101	186
6月	123	285
7月	110	332
8月	58	114
9月	42	50
10月	82	205
11月	72	187
12月	69	183
1月	70	112
2月	83	240
3月	61	137

	利用者数(人)		
	日本人	留学生	
年間合計	968	2,205	3,173
月平均	81	184	
1日平均	4.0	9.2	

※出入管理システムの入退室記録を基に算出した。



26年度末に一部視聴覚機器およびブースの更新を行った。また学習用スペースを新たに設けた。昨年度と比較すると、日本人学生、留学生の利用者ともに増となった。静寂な環境が好評のようである。

3年間の利用者数  
 25年度 2,770名  
 26年度 3,092名  
 27年度 3,173名

(2) 平成27年度に導入した主な教材

< DVD >

- 英語、その他外国語（映画）
  - 「アバウト・タイム 愛おしい時間について」
  - 「アメリカン・スナイパー」
  - 「エディ・コイルの友人たち」
  - 「キャプテン・フィリップス」
  - 「グランド・ブタペスト・ホテル」
  - 「シェフ 三ツ星フードトラック始めました」
  - 「ジャージー・ボーイズ」
  - 「チョコレートドーナツ」
  - 「博士と彼女のセオリー」
  - 「ベイマックス」
  - 「マダム・イン・ニューヨーク」
  - 「6才のボクが、大人になるまで。」

●日本語（映画）

- 「蝸ノ記」

< CD >

●英語教材

TOEIC テスト新公式問題集 Vol. 6

\* 教材は全て自習室に配架してあります。



### (3) 行事一覧

月	日 付	行事	
4月	3日(金)	新入留学生ガイダンス・留学生のための安全講習会・懇談会(前期)	
	5日(日)	中国留学生招待交流会 日中友好協会(学外招待)	
6月	6日(月)	チューターガイダンス、国際交流会館ガイダンス	
	6日(月)	第17回国際交流デー ～リサイクルデー～	
7月	7日(火)	第1回CIRスタッフミーティング	
	8日(水)	前期日本語研修コースⅠ(初級)、Ⅱ(初中級) プレゼンテーションテスト	
	8日(水)～14日(火)	前期履修相談会(学生支援室と共催)	
	14日(火)	前期日本語研修コースⅠ(初級) オリエンテーション、開講式	
	15日(水)	前期日本語研修コースⅠ(初級)、Ⅱ(初中級)、Basic Japanese 授業開始、日本ガイシスカラシップ奨学金授与式	
	20日(月)	第1回IGNITE 運営会議	
	21日(火)～23日(木)	第1回留学生のための学業相談会	
	24日(金)	第1回留学生のための日本語能力試験等説明会	
	5月	12日(火)	第2回CIRスタッフミーティング
	6月	21日(木)	第2回IGNITE 運営会議
27日(水)～28日(木)		第2回留学生のための学業相談会	
6月	5月31日(日)～6月12日(金)	ニューヨーク市立大学クイーンズ校学生受入	
	9日(火)	第3回CIRスタッフミーティング	
	21日(日)	MJHEP 説明会(マレーシア)	
7月	30日(火)	第3回IGNITE 運営会議	
	13日(月)～14日(火)	第3回留学生のための学業相談会	
7月	14日(火)	第4回CIRスタッフミーティング	
	15日(水)	会社説明会 東レ(株)	
	18日(土)	祇園花火 豊橋市国際交流協会(学外招待)	
	23日(木)	国際研修プログラム(受入) 参加学生対象事前研修	
	28日(火)	第4回IGNITE 運営会議	
8月	4日(火)	第5回CIRスタッフミーティング	
	7日(金)	日本語研修コース(前期入学) 修了式	
	19日(水)～20日(木)	集中講座【マレー語】	
	22日(土)	オープンキャンパス	
9月	24日(月)～26日(水)	集中講座【中級TOEIC対策】	
	8月30日(日)～9月6日(日)	国際研修プログラム(受入:インドネシア ITB・マレーシア USM、UTM・ベトナム HCMUT・中国 東北)	
	28日(月)～30日(水)	集中講座【英会話】	
10月	29日(火)	第5回IGNITE 運営会議	
	2日(金)	新入留学生ガイダンス、留学生のための安全講習会	
	5日(月)～8日(木)	後期履修相談会(学生支援室と共催)	
	6日(火)	第6回CIRスタッフミーティング	
	6日(火)	第18回国際交流デー ～リサイクルデー～、国際交流会館ガイダンス	
	7日(水)	チューターガイダンス(後期)	
	7日(水)	後期日本語研修コースⅠ(初級)、研修コースⅡ(初中級) プレゼンテーションテスト	
	9日(金)	後期日本語研修コースⅠ(初級) オリエンテーション、開講式	
	13日(火)	後期日本語研修コースⅠ(初級)、研修コースⅡ(初中級)、Basic Japanese 授業開始	
	17日(土)	豊橋まつり「総おどり」豊橋市国際交流協会(学外招待)	
11月	20日(火)	第6回IGNITE 運営会議	
	25日(日)～10月31日(土)	高校生招待プログラム(受入:モンゴル 新モンゴル・マレーシア ジットシン、チュンリン・ベトナム レホンフォン)	
	30日(金)	第2回留学生のための日本語能力試験等説明会	
	4日(水)	インドネシア Insantama 高校受入	
	6日(金)	第1回留学生のための進路・就職ガイダンス ～留学生のための進路・就職アドバイス～	
11月	10日(火)	第7回CIRスタッフミーティング	
	10日(火)	日本人学生対象留学セミナー	
	13日(金)	第19回国際交流デー ～(世界のお茶会)～	
	16日(月)～17日(火)	第4回留学生のための学業相談会	
	17日(火)	第7回IGNITE 運営会議	
	28日(土)	MJHEP 現地面接(マレーシア)	
	12月	1日(火)	第8回CIRスタッフミーティング
12月	8日(火)	第8回IGNITE 運営会議	
	10日(木)	第2回留学生のための進路・就職ガイダンス ～ASEANからの留学生向けガイダンス～	
1月	21日(月)～22日(火)	留学生学外研修(1泊2日)	
	5日(火)	第9回IGNITE 運営会議	
1月	12日(火)	第10回CIRスタッフミーティング	
	14日(木)～15日(金)	第5回留学生のための学業相談会	
	21日(木)	留学生対象引越セミナー	
	25日(月)	留学生意見交換会・留学生懇談会	
	2月	2日(火)	第10回CIRスタッフミーティング
2月	5日(金)	第3回留学生のための進路・就職ガイダンス	
	9日(火)	第10回IGNITE 運営会議	
3月	10日(水)、12日(金)	第6回留学生のための学業相談会	
	2日(水)	日本語研修コース(後期入学) 修了式	
3月	3日(木)	かけはしプロジェクト事前説明会	
	8日(火)	集中講座【マレー語】、特別推薦入学者等の海外研修事前説明会	
	8日(火)～15日(火)	かけはしプロジェクト(派遣:アメリカ合衆国ワシントン州シアトル市)	
	13日(日)～21日(月)	特別推薦入学者等の海外研修(派遣:マレーシア USM)	
	22日(火)	第11回CIRスタッフミーティング	
	29日(火)	第11回IGNITE 運営会議	

その他の活動: 留学生相談、同窓会、Annual Report 発行

#### (4) スタッフ出張報告一覧

日程	用務地	用務先	出張者
4月9日(木)～11(土)	マレーシア・ペナン	Disted College	浜島 昭二
4月15日(水)	名古屋市瑞穂区	日本ガイシ株式会社	大門 裕之
6月5日(金)	名古屋市	トヨタ産業技術記念館	蒲原 弘継
6月20日(土)～23日(火)	マレーシア・クアラルンプール	MJHEP、帝京マレーシア日本語学院	桂田 浩一
6月26日(金)	安城市	デンソー技研センター本社 技能研修所	浜島 昭二
7月7日(火)	静岡市	静岡日本語教育センター	桂田 浩一
8月17日(月)～21日(金)	①タイ・バンコク ②タイ・チョンブリー	①バンコクの4高校 ②The Tide Resort	桂田 浩一
9月5日(土)	名古屋市	トヨタ産業技術記念館	蒲原 弘継
9月5日(土)～6日(日)	常滑市	中部国際空港	大門 裕之
10月21日(水)～26日(月)	①インドネシア・ジャカルタ ②インドネシア・バンドン	①国立ジャカルタ第八高校 ②バンドン工科大学	蒲原 弘継
10月28日(水)	豊田市、岡崎市	トヨタ自動車元町工場他	桂田 浩一 蒲原 弘継
10月30日(金)	浜松市、常滑市	浜松科学館、東横イン中部国際空港本館	蒲原 弘継
11月6日(金)～7日(土)	①沖縄県那覇市 ②沖縄県国頭郡恩納村	①マリエールオークバイン那覇 ②沖縄科学技術大学院大学	大門 裕之
11月12日(木)～14日(土)	中国・瀋陽	東北大学	桂田 浩一
11月17日(火)～20日(金)	マレーシア・ペナン	Disted College	浜島 昭二
12月15日(火)	①岐阜県美濃加茂市 ②愛知県丹羽郡大口町	①ヤマザキマザック美濃加茂製作所 ②オークマ本社工場	蒲原 弘継
12月18日(金)	豊田市	豊田市役所、豊田商工会議所	蒲原 弘継
12月21日(月)～22日(火)	京都市	京都市市民防災センター他	村松 由起子 蒲原 弘継
1月12日(火)～18日(月)	①インドネシア・ジャカルタ ②インドネシア・ボゴール ③インドネシア・バンドン	①私立 Labschool Kebayoran 高校 ②私立 Insantama 高校 ③国立バンドン第三高校	蒲原 弘継
1月26日(火)～29日(金)	タイ・バンコク	Patumwan Demonstration School 他	桂田 浩一
1月26日(火)～31日(日)	マレーシア・ペナン	ペナン校	大門 裕之
2月24日(水)～29日(月)	①インドネシア・ジャカルタ ②インドネシア・バンドン	①国立ジャカルタ第八高校 ②バンドン工科大学	蒲原 弘継
3月8日(火)～15日(火)	米国ワシントン州シアトル市	在シアトル日本国総領事館、ワシントン大学他	大門 裕之
3月13日(日)～3月21日(月)	マレーシア・ペナン	ペナン校、マレーシア科学大学他	ライアン ユージン 蒲原 弘継

## 6. 国際交流センタースタッフ一覧

氏名	所属等
大門 裕之	CIR センター長、教授（環境・生命工学系兼務）
浜島 昭二	CIR 特任教授（国際教育センター兼務）
桂田 浩一	CIR 准教授（情報・知能工学系兼務）
村松 由起子	CIR 准教授
吉村 弓子	CIR 准教授
ライアン ユージン	CIR 准教授（総合教育院兼務）
蒲原 弘継	CIR 特任助教
鈴木 聖子	CIR 助手

### <事務担当>

氏名	所属等
中田 尚樹	国際課長（～平成27年4月）
田中 基久	事務局次長、国際課長事務取扱（平成27年5月～）
福村 静	国際課留学生係係長
栗田 多映子	国際課留学生係主任
萩原 孝明	国際課留学生係主任
梁瀬 美紀	国際課留学生係係員
村田 もえ	国際課留学生係特命事務職員
河合 智子	国際課留学生係特命事務職員
松本 智枝	国際課留学生係特命事務職員
田口 悠里	国際課留学生係事務補佐員
村越 朱美	国際課留学生係事務補佐員（～平成27年12月）
高橋 佳子	国際課留学生係技能補佐員